

令和5年度 丸岡高等学校定時制スクールプラン

業務改善のための取組

- ・在校時間月45時間以内を全教職員が達成するべく、ノー残業デーを設け、定時退勤を目指す。
- ・会議等のペーパーレス化、効率的なデータ管理によるDX化を推進する。
- ・会議を精選し、終了時刻を設定して会議時間の短縮を図る。
- ・業務をチームで推進する意識を醸成する。

人権教育の推進

- ・自分の大切さとともに他の人の大切さを認められる生徒の育成を行う。
- ・いじめや不登校が生じないよう「未然防止」「初期対応」「自立支援」等を発達に応じて系統的・継続的に取り組む。
- ・ジェンダーに対する理解を深め、人権意識の高揚を図る。

※項目ごとに重点目標を設定する。

重点目標

※共通項目以外に、学校の独自項目を設定する

(共通項目) 1 教育課程・学習支援	(共通項目) 2 生徒支援	(共通項目) 3 進路支援	(独自項目) 4 教育相談	(独自項目) 5 環境衛生	(独自項目) 6 読書支援
a 落ち着いた雰囲気の中で学習に取り組めるよう、学習環境を整える。 b 一人ひとりの能力に応じた教材を工夫し、基礎学力の充実を図る。	a 容儀規定を遵守させ、規律の維持を図ると共に家庭と連携しながら、遅刻数の減少を目指す。 b いじめに係る情報を全体で共有し、いじめを解消する。	関係機関との連携を深めながら、適切な進路指導の実現を目指す。	生徒の悩みや問題行動の解決を図り、望ましい成長と自己実現への支援に努める。	清掃活動を習慣化し、環境美化を図る。また感染症予防の意識の向上を図る。	読書に親しむ習慣を身につけさせ、語彙力・読解力の向上を図る。
具体的取組 a 始業のベルとともに授業がはじまり、スムーズに学習に取り組めるよう努める。 目標：ベル着を定着する：生徒90%以上 b ICT機器を活用した教材・教え方の工夫や、城東スタンダードの活用により、生徒主体のわかりやすい授業をする。また、成績不振者に対して個別指導を行い、基礎学力の向上に努める。 目標：授業に興味を持って参加する：生徒80%以上 成績不振者に適切な指導をする：教職員100%	具体的取組 a 容儀規定遵守を日常的に働きかけ、容儀検査に対しては、全教職員で指導にあたる。また家庭と連携を密にしながらかみ細やかな指導を行うことで、全体の遅刻数減少を目指す。 目標：容儀規定を守り、遅刻防止のための努力をし、遅刻回数を減少させる。：生徒85%以上 b 生徒の不適切な言動に対して、速やかにその場で指導する。また、定期的にアンケート、面談を実施する。 目標：生徒に相手の気持ちを理解し、コミュニケーションをとるように指導を行う。教職員：100%	具体的取組 a 進路に関する適性検査や講演会・ガイダンスを通して、自分の進路について考え、就労意欲が高まるよう働きかける。 目標：自分の進路について考え、就労意欲を高める。：生徒80%以上 b ハローワークなど関係機関と連携しながら、個々の生徒に応じた進路指導を行う。 目標：生徒に適切な指導を行う。：教職員100%	具体的取組 生徒との日常的な関わりを大切にし、生徒の抱える問題の早期発見に努め、家庭、関係機関、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携をさらに強めることで、適切に問題解決を図る。 目標：悩みを持つ生徒が教職員に気軽に相談できる校内体制を整える：生徒80%以上	具体的取組 身の回りの整理整頓と校内の清掃活動が習慣化するよう、適切な声かけを行う。 目標：日頃から身の回りの整理整頓と校内の清掃活動に取り組んでいる。自己の健康管理に取り組んでいる。：生徒85%以上	具体的取組 「ハートフルタイム」での読書活動や「ハートフルだより」を通して、読書に対する意欲や興味を育成する。 目標：読書活動に真剣に取り組んでいる。：生徒80%以上